※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　工業科（都市住宅系　アーキテクト専科）

教科	工業	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	建築計画（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築計画とは、建築物を建てる前に様々な条件の把握や全体の方針を決める過程、プロセスを意味します。建築物は住宅、集合住宅、福祉施設、病院、学校など用途によって必要となる基本的知識も変化し、利用する人々の快適な生活空間の提供はもちろんのこと、室内外の環境や設備、また設計やデザイン性と必要知識は多岐にわたります。授業を通して建築物の様々な条件や方針の決定など、建築物の計画に関する基本的な知識の理解、技術の習得をめざします。

2　学習の到達目標

・室内外における環境、各種建築物の計画、建築設備など建築計画に関する基礎的な知識や技術を理解し、建築空間を合理的に計画・設計する基本的な知識と技術を習得します。
・建築計画を通して、これから求められる建築物のありかたやニーズを理解し、これからの技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
・必要な知識や技術を自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築計画に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、実際の社会での建築物の意義や役割を理解している。また、身につけた知識と技術を建築の計画に表現し、その技術を適切に活用する。	建築計画についての理解をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	建築計画に興味・関心を持ち、現代社会での建築物におけるニーズへの対応の重要性を理解している。また、主体的かつ協働的に取り組もとするとともに、実践的な態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	建築と環境	・屋外環境と室内環境 ・換気と通風 ・伝熱と結露 ・日照と日射 ・音響	a:室内外の環境に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b:室内外の環境に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c:室内外の環境に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
				質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
2学期	各種建築物の計画	・住宅の計画 ・集合住宅の計画 ・事務所の計画 ・小学校の計画 ・各種建築物の安全計画	a:各種建築物の役割や種類、構成や性能に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b: 各種建築物の役割や種類、構成や性能に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c: 各種建築物の役割や種類、構成や性能に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
				質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
3学期	建築設備の計画	・給排水・衛生設備 ・空気調和・換気設備 ・電気設備 ・防災設備 ・搬送設備	a:建築設備に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b:建築設備に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c:建築設備に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度